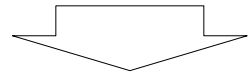


【時代の潮流変化】（全国計画素案）

- 本格的な人口減少社会の到来、急速な高齢化の進展
- グローバル化の進展と東アジアの経済発展
- 情報通信技術の発達
- 安全・安心、環境や美しさ、文化に対する国民意識の高まり
- ライフスタイルの多様化、「公」の役割を果たす主体の成長



【中国圏の現状・課題】

- (1) 全国に先駆けた人口減少・高齢化の進展
- (2) 欧米に加えて拡大する東アジアとの経済交流
- (3) ブロック内での日帰り交流が困難な地域やデジタルデバイドの存在
- (4) 蓄積のあるものづくり産業と成長の乏しいサービス産業
- (5) 衰退し集落の消滅が危惧される中山間地域
- (6) 中心市街地の空洞化などが懸念される都市地域
- (7) ブロック内格差を抱える中国圏
- (8) 水害や地震等に対する脆弱さを内包する国土
- (9) 地球温暖化や地域の水域環境等への対応
- (10) 基礎自治体の再編と生活に必要なサービスの確保
- (11) 「新たな公」を担う住民等の活動の活発化

【中国圏のポテンシャル】

(1) 東アジアや西日本における交流の歴史と地理的優位性

中国圏は、中国大陸・朝鮮半島などに近接している地理的優位性を背景に、東アジアと文化・経済に関する深い関わりを有していた。また、日本海及び瀬戸内海の海上交通並びに山陰道及び山陽道など陸上交通を使い、大陸や九州と奈良・京都・大坂などを結ぶ西日本の交通の要衝としての役割を担ってきた。

このため中国圏には、古代出雲文化など日本の歴史上、特に重要な文化が蓄積している。また、原爆ドーム、厳島神社、石見銀山遺跡という世界遺産を有している。

(2) 欧州の中規模国に匹敵する人口・経済力

中国圏の人口は約770万人、総生産は約29兆円(約2,700億ドル)であり、これはオーストリアやデンマーク等の欧州の中規模国に匹敵する。また、中国圏全体の域際収支はほぼ均衡しており、圏域全体で見ると経済的自立が可能なポテンシャルを有している。

(3) ものづくり産業の強みによる自立的発展の可能性

中国圏は、「オンリーワン企業」や「ナンバーワン企業」が多数立地するなど、ものづくり産業が臨海部を中心に集積し、移出を通じた域外からの所得獲得力は地方ブロックの中で抜きん出た強さを持っており、自立的な経済圏を形成する高いポテンシャルを有している。

(4) 分散する様々な規模の都市と豊かな自然の共存の可能性

中国圏は、様々な規模の都市が森林・里山等の豊かな自然と近接して分散的に存在しており、連携・交流が比較的容易な地域構造を形成している。

中国圏の目指すべき姿（将来像）

○地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏

中国圏は、古来、大陸文化の橋渡し役を果たすなど、交流を通じて文化・産業の両面にわたり各地で様々な発展をしてきた。それらを基盤とした新たな交流・連携により、中国圏全体の持続的発展を目指す。

- 多様な地域が連携した一体感のある中国圏の形成
- 隣接ブロックを含めた交流・連携による活力・魅力の向上
- 東アジアをはじめ世界に開かれた交流・連携
- 中国圏の持続的発展を支える多様な人材の育成・確保

○産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏

ものづくりを中心とした高度な産業集積や、農林水産物、伝統技術、観光資源などの幅広い地域資源を有する中国圏において、そのポテンシャルを活かし、環境問題等の対応を含めた新たな挑戦により持続的な経済成長を目指す。

- 国際競争力のある産業の振興
- 地域の活力につながる産業の振興
- 地域資源を活かした地域経済の活性化
- 地球温暖化への対応を活かした産業の振興

○多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏

日本海や瀬戸内海、中国山地などの変化に富んだ自然の中で、中山間地域等と都市地域が一体的な生活圏を形成し、地域性に富む文化を育んできた中国圏において、多様で豊かな生活と仕事をともに楽しめる地域づくりを目指す。

- 中山間地域と都市地域の交流・連携等による生活サービス機能の確保
- 安全・安心な国土・地域づくりの推進
- 多様な主体が連携・協働した地域づくりの推進

【将来像において横断的に持つべき視点】

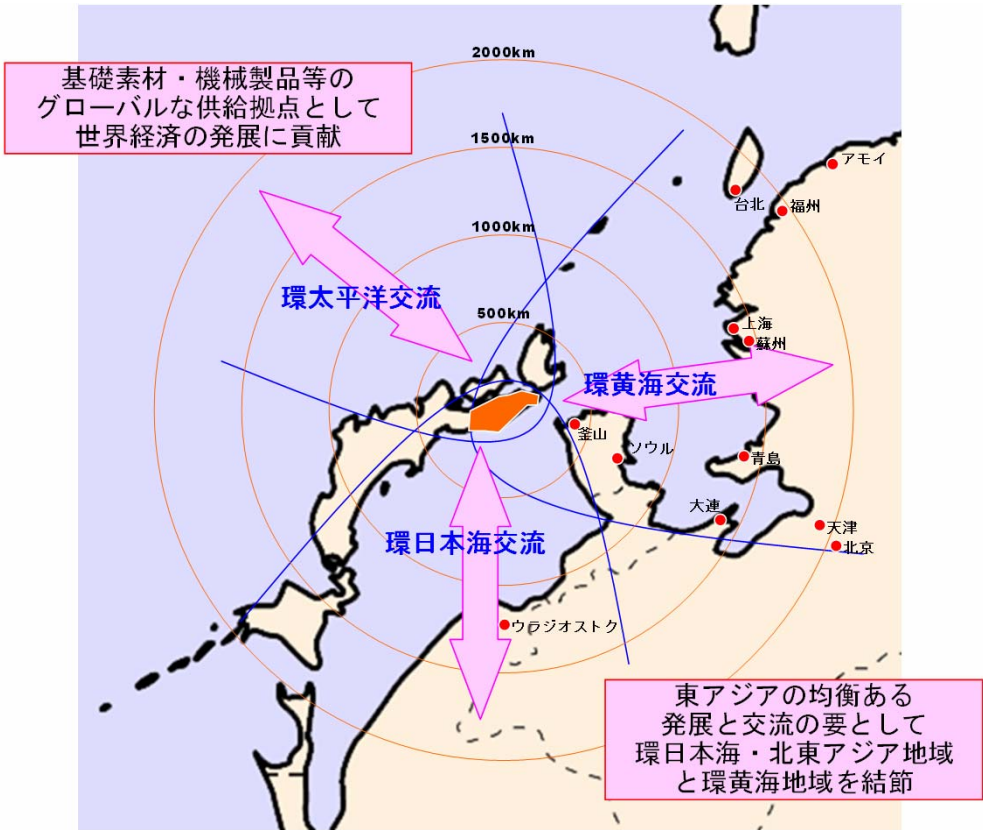
- 多様な人材の育成・確保
- 地球温暖化対策の推進
- 災害に強い国土・地域づくりの推進
- 基幹的交通・情報通信ネットワークの形成
- 都市地域と中山間地域等を総合的に捉えた地域戦略の推進

中国圏の将来像

1. 地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏

基本方向		施策の柱
○多様な地域が連携した一体感のある中国圏の形成	中国圏の持続的な発展に向け、交通・高度情報通信ネットワークの充実等により、各地域の個性や魅力を活かし、山陰・山陽間をはじめとするブロック内の交流・連携を拡大し、広域的に一体感のある中国圏の形成を図る。	(1) 歴史・文化の継承、創造 (2) 分散する都市を活かした中国圏の形成 (3) 都市と中山間地域等の多様な交流の拡大 (4) 基幹的な交通機能の整備 (5) 情報通信ネットワークの強化
○隣接ブロックを含めた交流・連携による活力・魅力の向上	交流の大動脈である瀬戸内海や日本海等の海上交通機能や陸上の高速交通ネットワークを活用し、近畿・四国・九州ブロックを含む産業連携、文化交流、環境管理などを推進することにより中国圏の活力・魅力の向上を図る。また、ブロック内外の各地域が連携し、世界遺産や瀬戸内海、日本海等の多様な観光資源を活かした広域観光やインバウンド観光の振興を図る。	(1) 隣接ブロック等との広域連携の推進 (2) 広域的な産業連携の推進 (3) 広域観光の推進
○東アジアをはじめ世界に開かれた交流・連携	空港や港湾のグローバルゲート機能や各地域の拠点都市における国際交流機能を充実・強化し、東アジアをはじめとする世界との経済・文化交流を推し進めるとともに、国際的な人材交流などや東アジアの環境問題や災害復興支援・平和・医療などの分野で国際貢献の拡大を図る。	(1) グローバルゲートウェイ機能の強化 (2) 国際経済交流の推進 (3) インバウンド観光の振興 (4) 国際文化交流の推進 (5) 国際貢献の拡大
○中国圏の持続的発展を支える多様な人材の育成・確保	中国圏の持続的な発展を支える人材について、ブロック内の大学等の高度な専門教育・研究機能を活用した人材育成や、ブロック内に人材が定着する環境の整備などを行うことにより、ものづくり産業を支える人材など中国圏の持続的発展を支える人材の育成・確保を図る。	(1) 教育・学習システム改革の推進 (2) 産業を支える人材の育成・確保 (3) 地域を支える人材育成

○東アジアをはじめ世界に開かれた交流・連携のイメージ

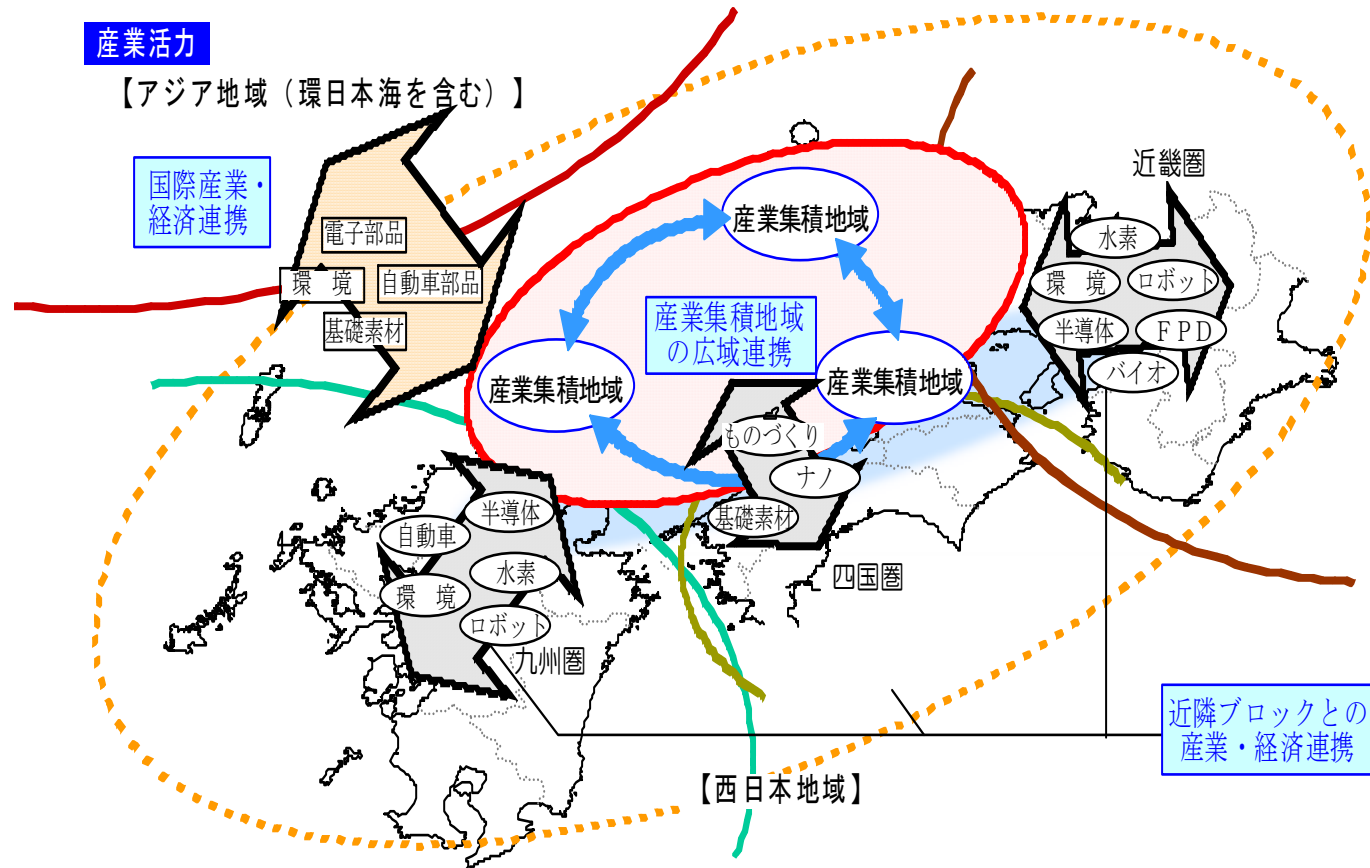


中国圏の将来像

2. 産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏

基本方向		施策の柱
○国際競争力のある産業の振興	ものづくり産業を中心とした地域の産業集積を活かし、産学官や企業間の広域連携、戦略的な企業誘致を促進することにより、企業の競争力の向上や新技術・新産業の創出・展開を図る。また、国際的な産業競争力を高めるための国際物流の効率化や国際競争力を保持するエネルギー・環境対策の推進を図る。	(1) 基幹産業の国際競争力の強化 (2) 国際的な物流基盤の強化 (3) 産業集積の広域連携や知的資源を活かした新技術・新産業の創出 (4) 産業集積の機能を高める戦略的な企業誘致
○地域の活力につながる産業の振興	中国圏全体の経済的自立性を高めるため、都市型サービス産業やIT・コンテンツ産業等のサービス産業の振興を図る。	(1) サービス産業におけるイノベーションと生産性向上の促進 (2) 生活関連サービスの振興 (3) 中国圏を支える自立拠点都市圏の機能強化
○地域資源を活かした地域経済の活性化	地域の歴史・文化・自然に育まれた農林水産物、伝統技術、観光資源等の地域資源の活用や、農林水産業の高度化・農商工連携などにより、地域産業の高度化・新事業の展開を進めることにより、地域外から所得獲得できる産業の振興を図る	(1) 農林水産業の再生 (2) 地域資源を活かした新産業創出等
○地球温暖化への対応を活かした産業の振興	地球温暖化の防止は、人類共通の喫緊の課題であり、その解決に向けて、中国圏が地球温暖化防止、エネルギー対策の先進地域となるよう取り組んでいくことが重要である。 そのため、産業面におけるエネルギー消費原単位の改善をより一層進めるとともに、コンビナート地区におけるエネルギーの効率的利用、静脈物流システムの構築と新たな環境産業の振興、森林資源等を活用したバイオマス産業の育成、原子力発電の推進に取り組んでいく。	(1) 基幹産業の省エネルギー化等による競争力の強化 (2) 地球温暖化対策に資する地場産業の振興

○国際競争力のある産業の振興のイメージ

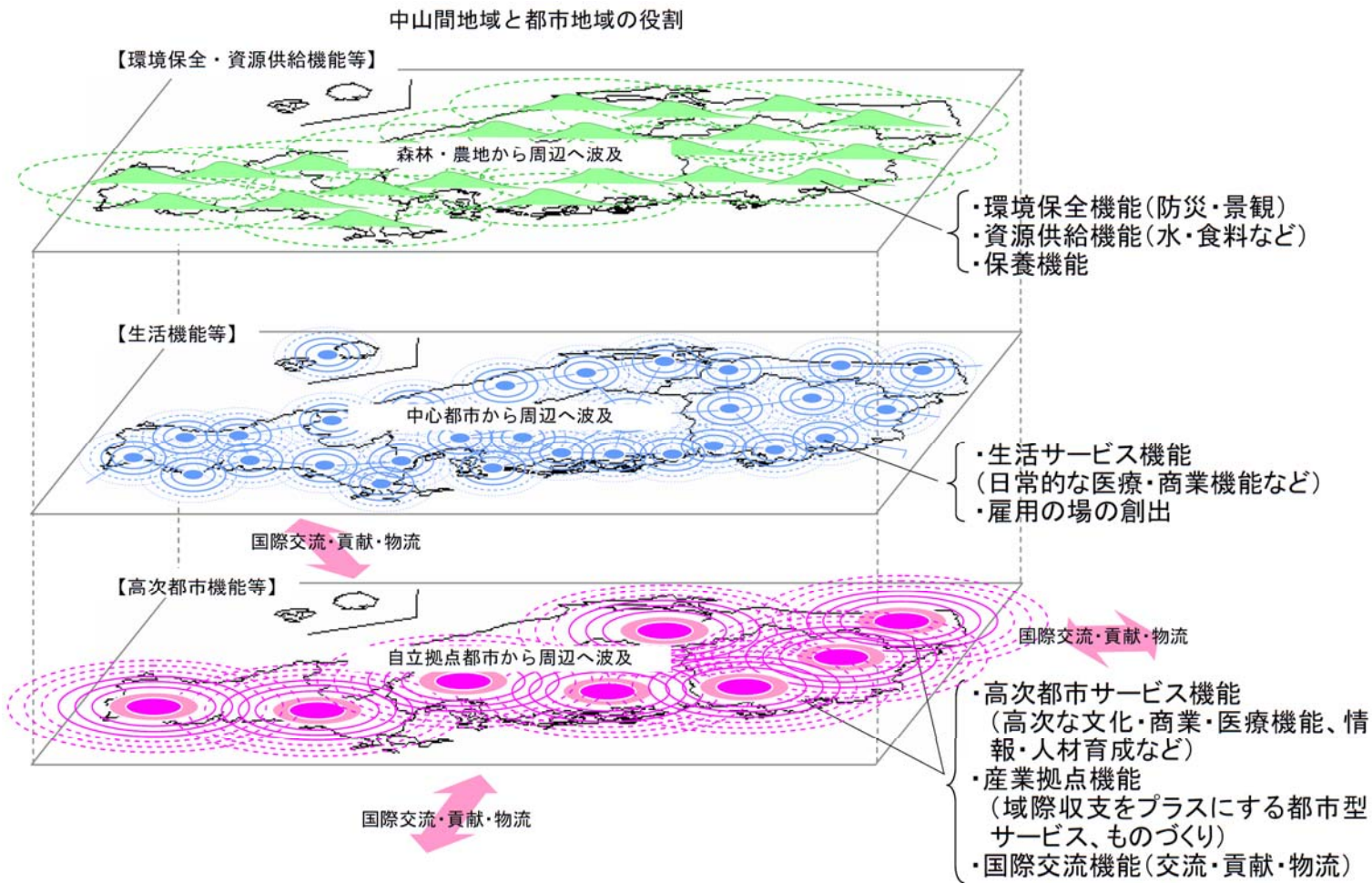


中国圏の将来像

3. 多彩な文化と自然を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏

基本方向		施策の柱
○中山間地域等と都市地域との交流・連携などによる生活サービス機能の確保	中山間地域や島しょ部と都市地域のそれぞれの強み・役割を活かした相互補完関係を構築し、両地域の結びつきをさらに深めることにより一体的な生活圏の形成を図る。中山間地域等においては、人口減少が進む中、医療・福祉などの生活サービス機能の維持を前提として、地域の実情に応じて機能の集約などにより、その確保を図る。	(1) 中山間地域等や島しょ部における一次生活拠点の確立と多様なサービス提供 (2) 中山間地域等や島しょ部と生活中心都市の機能連携 (3) 地域を支える高次な生活支援機能の整備 (4) 都市地域の快適な生活環境の整備
○安全・安心な国土・地域づくりの推進	安全・安心な生活の基盤として、災害に強い国土・地域基盤の確保や自然環境の保全・管理の充実を図る。	(1) 国土管理と既存社会資本基盤の戦略的な管理の推進 (2) 災害に備えたハードとソフトの整備 (3) 自然環境の保全 (4) 中山間地域の多面的機能の維持 (5) 地球温暖化に資する都市づくりの推進
○多様な主体が連携・協働した地域づくりの推進	広域化する行政や民間の企業によるサービス提供の限界・効率の低下を補い、地域のニーズにきめ細かく対応した生活支援サービスの供給や魅力ある地域づくりを実現するため、住民やNPO、企業、行政の協働による持続可能な地域経営の仕組みの構築を図る。	(1) 自立した地域活動を推進する多様な主体が協働できる仕組みづくり

○中山間地域と都市地域の交流・連携等による生活サービス機能の確保のイメージ



【中国圏広域地方計画(第二章)と(第三章)の対応表】

東アジアと西日本の交流軸として、多様性を活かしてグローバルに発展する中国圏

横断的プロジェクト

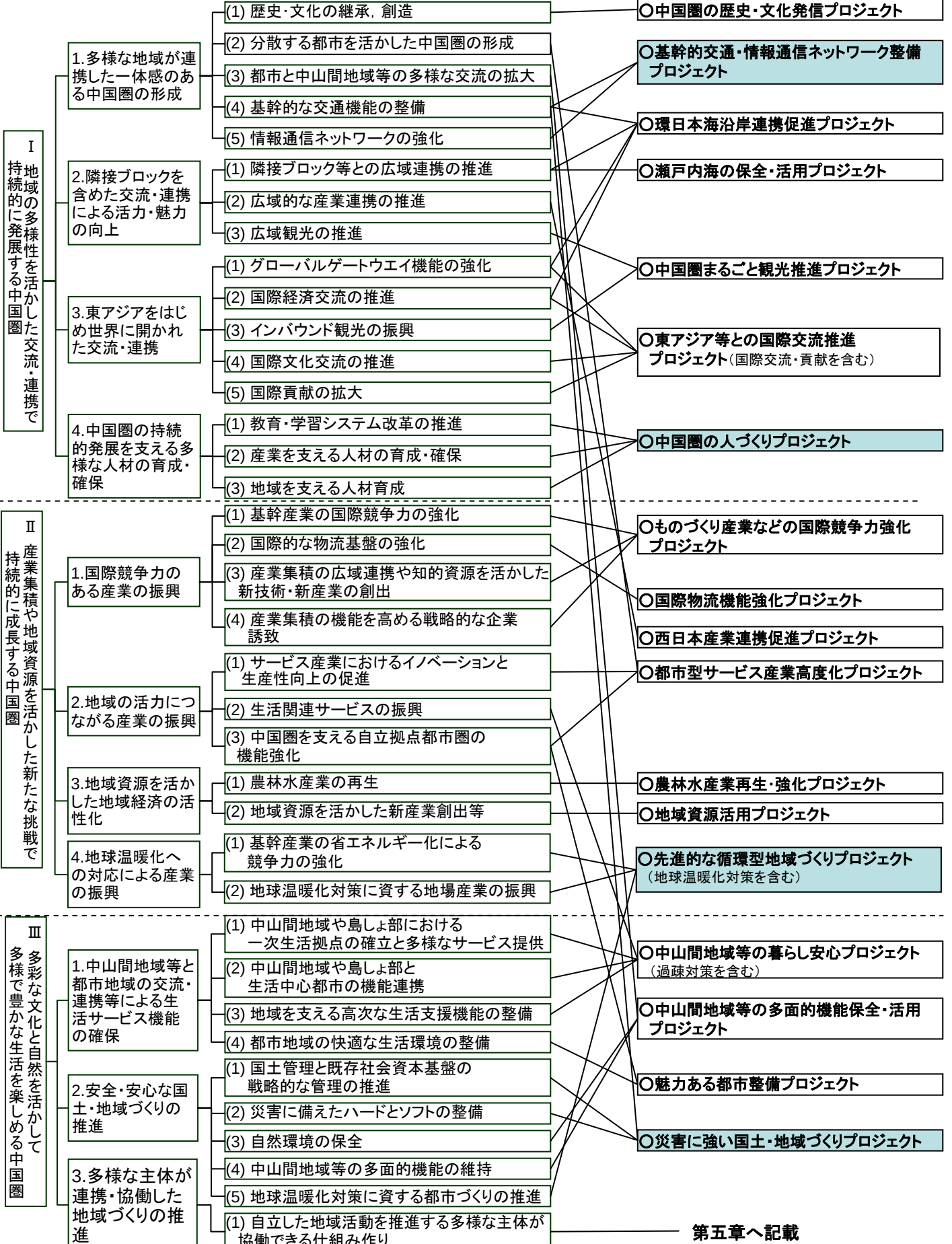
【第二章】

【第三章】

(将来像) (基本方向)

(施策の柱)

(プロジェクト)



第五章へ記載

IV. 将来像において横断的に持つべき視点

中国圏広域地方計画のプロジェクト構成

H20.1.31→H20.3.25

プロジェクト	概要	プロジェクト	概要
○中国圏の歴史・文化発信プロジェクト	中国圏のアイデンティティと一体感を醸成するため、世界文化遺産に代表される個性と魅力ある歴史・文化や瀬戸内海、中国山地、日本海などの多様な自然や美しい景観などの継承・活用・再生を図り、世界に向け中国圏の歴史・文化などの魅力を発信する。	○地域資源活用プロジェクト	産地の技術、観光資源など、中国圏固有の優位性のある地域資源を地域が主体となって戦略的に選択・集中・活用し、情報発信・事業化・ブランド化を進めるとともに、地域の強みを活かした付加価値の高い産業の創出・育成を図り、さらにそれぞれの地域が相互に機能を補完し共生できる多機能融合型の広域連携を推進していく。
○環日本海沿岸連携促進プロジェクト	【北東アジアゲートウェイの構築】北東アジアとの地理的近接性や社会・経済的な結びつきの強さを活かし、既存港湾の機能強化と高速交通ネットワークの整備等により、中国圏全体や隣接ブロックへの経済的波及が期待されるゲートウェイ機能を確保する。 【日本海沿岸連携の推進】経済発展めざましいロシア沿海州、韓国、中国など北東アジアとの連携強化に向けた日本海沿岸地域の活性化を図るため、宍道湖・中海地域などにおける拠点の形成を図るとともに、沿岸漁場や拠点漁港の整備、県境を越えた連携などを進める。	○農林水産業再生・強化プロジェクト	農林水産業の持続的発展のため、地域の実情に即した担い手の育成、生産・流通基盤の整備、経営の安定化を図るとともに、U J I ターンなどの農林水産業への新規就業を支援する。また、商工・農林水産団体の一体的支援により、売れる農林水産品・加工品づくりを推進し、ブランドの形成を図るとともに、中国圏内各地での地産地消の推進などにより、農林水産業の再生・強化を図り、農商工連携を推進する。さらに、バイオマスエネルギー等の農林水産資源を新たに利活用した産業育成を図る。
○瀬戸内海の保全・活用プロジェクト	瀬戸内海に関する自然環境や景観を保全するとともに、海に関する様々な資源を漁業や観光・防災など多様な分野において活用するため、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」など、広域ブロックや県境を越えた様々な連携の枠組みを通じた取組を強化する。	○中山間地域等の暮らし安心プロジェクト	中山間地域等の集落機能が低下するなか、地域の自立を図るため「新たな公」の考え方に基づく住民自治組織の設置を進め、防災・福祉・交通などの地域課題を地域で解決する活動を促進するとともに、既存ストックを活用した行政、医療、商業などのワンストップ拠点の構築や防災対策を推進する。また、居住環境の整備を含めた福祉サービス機能の向上を図る。さらに、交通機能の確保、情報通信の整備等により、生活圏内や二次と三次生活拠点間のアクセスの改善、居住の自由度の向上を図る。
○中国圏まるごと観光推進プロジェクト	観光資源の発掘・創出・維持保全による魅力ある滞在型の観光地の形成を図るとともに、世界的な遺産や体験型観光など観光資源の広域的なネットワークの整備によって、観光ルート・メニューの充実を図る。また、中国、台湾、韓国等の東アジアからの誘客を重点対象とし、国際競争力のある新たな観光商品の開発や、海外へ向けた広告宣伝事業、情報発信事業を総合的に実施するとともに、受け入れ体制の充実強化を図る。さらに、地域経済の活性化に寄与し、交流人口の拡大が見込まれる国際会議や全国大会などのコンベンションを共同で誘致・開催するなどにより中国圏の連携強化を図る。	○中山間地域等の多面的機能保全・活用プロジェクト	食料・木材生産機能や、水・景観・生態系等の環境機能、国土の保全機能や保養機能を備える中山間地域等の多面的機能を維持・保全・再生するため、持続的な農林水産業を推進するとともに、都市住民の参加などによる森林・農地運営の推進や農山漁村体験、グリーンツーリズム・ブルーツーリズムの促進により、都市との多様な交流の活性化やお互いに支え合う仕組みづくりの構築を図る。
○東アジア等との国際交流推進プロジェクト	東アジアとの地理的近接性や密接な交流の歴史、国際経済との結びつきの強さなどの特性を活かすため、広域ブロックにおける人的交流のゲートウェイの形成に向けて、港湾や空港の機能の強化や高速交通基盤の整備、充実を図る。また、東アジアをはじめとする世界との経済・観光・文化などにおける人的交流を推進するとともに、環境・災害復興・平和・医療支援・人材育成などの分野で国際貢献の拡大を図る。	○魅力ある都市整備プロジェクト	都市が多様な自然に近接し、適度な密度で分散している地域特性を活かし、中国圏らしい都市の生活スタイルを確立するため、中心市街地における既存ストックの活用や市街地整備、交通結節点の改善などによる商業の活性化、魅力ある街なか居住を推進するとともに、歴史、文化、自然、景観等の地域資源を活用したまちづくりを推進する。また、効率的・効果的な交通システムの整備、水辺海辺環境・公園緑地・下水道の整備、良質な住宅ストックの整備などにより、地域特性に応じた快適な生活環境の形成を図る。さらに、高齢化社会に対応するため、旅客施設、建築物、道路、公園などにおける連続的なバリアフリー環境の整備を推進する。
○ものづくり産業などの国際競争力強化プロジェクト	瀬戸内海沿岸に集積するコンビナートの運営機能の統合及びリノベーション等によって、中国圏の強みである基礎素材型産業の競争力強化を図るとともに、ものづくり基盤技術の強化等を通じ、山陰に集積する液晶関連分野など中国圏における輸送用機械・電子部品・電気機械等の競争力の強化を図る。また、地域の特性・強みを生かした戦略的な企業誘致による産業集積の形成を図る。さらに、産学官連携を通じて国際競争力あるクラスターを形成していき、イノベーションや新産業の創出を図る。	○中国圏の人づくりプロジェクト ※横断的プロジェクト	産業活動を支える研究開発や新製品・新サービスの開発に携わる高度人材等の確保・育成・他圏域からの流入・定着を図るため、産業界や経済界と連携し、中国圏における大学等の高次教育・研究機能を活用した広域連携に基づく人材育成・確保プログラムの開発等を促進する。また、地域を支える担い手の育成のため、シニア世代や若年層などから多様な人材の育成を図るとともに、都市と中山間地域の人材交流と協働を促進する。さらに、新たな公を支えるための助言・支援を行う中間的な支援組織の設立を図る。
○国際物流機能強化プロジェクト	基礎素材型産業における大量の原材料、エネルギー資源などのバルク貨物の輸送コスト低減を目指すとともに、成長著しい東アジア諸国に近接する中国圏の地理的な優位性を活かし、国際競争力を強化するため、産業港湾の再生・機能強化，東アジアに向けたシームレスな貨物輸送ネットワークの構築・高度化を図り，国際的な競争力を有する物流基盤の整備を行う。	○先進的な循環型地域づくりプロジェクト ※横断的プロジェクト	【地球温暖化対策の推進】温室効果ガスの削減を一層推進するために、エネルギー利用効率の向上及び原子力発電の推進等によるエネルギー源の多様化・分散化等を行うことにより、一層柔軟かつ強靱なエネルギー需給構造の構築を推進する。また、コンビナート地区の企業間の連携によるエネルギーの効率的利用の拡大並びに、副生水素の利用等による水素社会形成を目指すとともに、環境負荷の少ない物流体系を構築するほか、中山間地域等においても、その地域資源を活かして間伐材等の活用によるバイオマスエネルギーの利活用等を図る。さらに、過度な自家用車利用から公共交通機関や自転車等への転換を促すとともに、都市緑化の推進や省エネルギー性能の高い住宅・建築物の普及など環境負荷の低減を目指す。加えて、地球温暖化に伴う水象・気象の変化に対応した防災対策を推進する。 【環境対策への連携した取組の推進】大陸からの影響が指摘されている光化学オキシダント・黄砂などの環境問題について国際貢献を拡大するとともに、枯渇が懸念される海洋資源について、沿岸諸国と連携して資源保護政策を充実する。また、静脈物流と産業廃棄物の再資源化が一体化した拠点地区の形成を図る。
○西日本産業連携促進プロジェクト	近畿圏のバイオ産業、九州圏の半導体・自動車産業、四国圏の基礎素材産業など隣接ブロックの基幹産業や循環・環境産業を中心とした、西日本における新たな産業融合を促進するため、産業クラスターの活動や新産業創出等の取組において、ブロックを越えた広域連携の体制づくりを行う。また、それらを支援する高速交通ネットワークの整備や既存ネットワークの有効活用を推進し、産業・経済面等における活性化を図る。	○災害に強い国土・地域づくりプロジェクト ※横断的プロジェクト	流域圏や沿岸域における災害対策、渇水対策などの国土管理の連携を図るとともに、都市型水害対策の推進、防災拠点施設の整備と強化を行う。また、大規模災害時の空港・港湾・道路など緊急輸送ネットワークの確立と強化、施設の老朽化対策など、既存の社会インフラの戦略的な維持管理を推進する。あわせて、防災情報システムの整備による防災体制の確立や、消防団・水防団と自主防災組織活動の連携などソフト対策の推進により地域防災力の向上を図る。さらに、気候変動に伴う災害激甚化等新たな課題への対応も進める。
○都市型サービス産業高度化プロジェクト	ものづくり産業との融合やITの活用などによりサービス産業の生産性の向上・イノベーションの促進を図るとともに、中国圏におけるアニメーションや映画などのコンテンツを活用した地域活性化の支援及びそれらのコンテンツ産業の育成を図る。また、拠点都市圏における生活支援サービス産業の創出支援を行う。さらに、快適で高度な都市空間の形成、都市内交通や道路網の整備による交通基盤の高度化と都市圏交通の円滑化を推進する。	○基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト ※横断的プロジェクト	分散型の地域構造の特徴を活かした中国ブロックの一体的な発展を図るとともに、近隣ブロックとの連携を促進するため、これらの交流・連携を支える陸・海・空の交通ネットワークや情報通信ネットワークを整備する。

中国圏の歴史・文化発信プロジェクト

- 中国圏のアイデンティティと一体感を醸成するため、世界文化遺産に代表される個性と魅力ある歴史・文化や瀬戸内海、中国山地、日本海などの多様な自然や美しい景観などの継承・活用・再生を図り、世界に向け中国圏の歴史・文化などの魅力を発信する。

〔中国圏の魅力の発信〕

世界に向け中国圏の歴史・文化などの魅力を発信する。

(事例) まち歩き中国ナビ



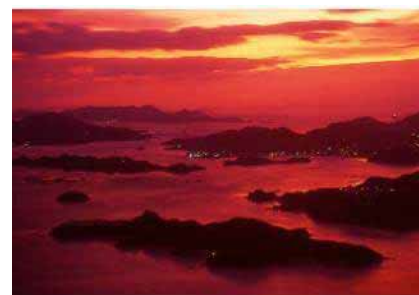
「まち歩き中国ナビ」(中国地域観光推進協議会)
URL: <http://www.chugoku-navi.jp/index.html>



日本海の自然・景観



中国山地の自然・景観



瀬戸内海の自然・景観

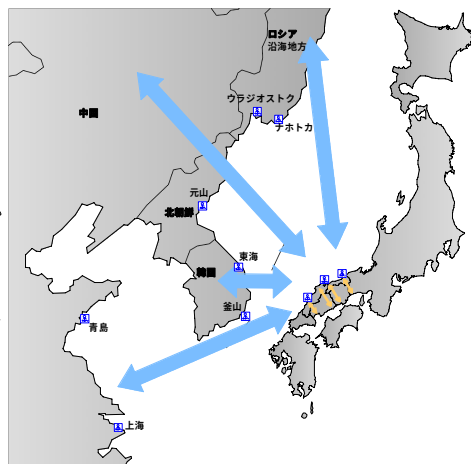
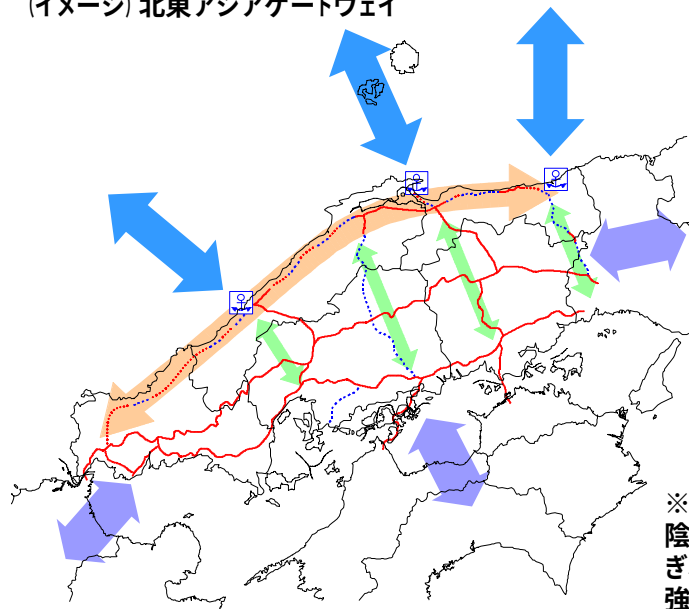
※中国地域観光推進協議会は、中国地域が一体となって観光の視点から地域振興と交流人口の増大を図ることを目的として設立されており、「まち歩き中国ナビ」を通じて地域の情報や広域観光ルート、日本語、中国語(繁体字)、韓国語、英語の4言語で発信している。

環日本海連携促進プロジェクト

■北東アジアゲートウェイの構築

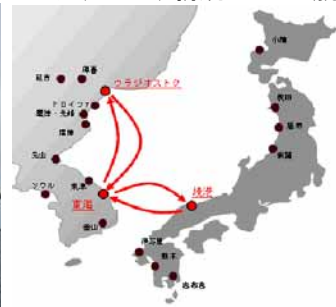
- 北東アジアとの地理的近接性や社会・経済的な結びつきの強さを活かし、既存港湾の機能強化と高速交通ネットワークの整備等により、中国圏全体や隣接ブロックへの経済的波及が期待されるゲートウェイ機能を確保する。

(イメージ) 北東アジアゲートウェイ



※日本海沿岸の港湾と高速道路ネットワーク、陰陽の高速道路ネットワークを有機的につなぎ、北東アジアとの社会・経済的な結びつきの強さを活かした交流・連携を強化する。

(事例) 境港－東海(韓国)－ウラジオストク(ロシア) 新規フェリー航路



※境港－東海(韓国)－ウラジオストク(ロシア)を結ぶ新規国際フェリー航路(H20夏就航予定)の活用や、海外からのクルーズ船の誘致により、観光交流の促進を図る。

■日本海沿岸連携の推進

- 経済発展めざましいロシア沿海州、韓国、中国など北東アジアとの連携強化に向けた日本海沿岸地域の活性化を図るため、穴道湖・中海地域などにおける拠点の形成を図るとともに、沿岸漁場や拠点漁港の整備、県境を越えた連携などを進める。

(穴道湖・中海圏などの拠点整備)

松江市中心市街地拠点地区をはじめとして、出雲、松江、米子など穴道湖・中海・大山圏域の拠点整備を推進する。

(漂着ゴミ対策)

県境を越えた連携などにより、日本海沿岸の漂着ゴミの対策を進める。

(事例) 日本海・黄海沿岸の海辺の埋没・漂着物調査
富山県の主唱により、1996年から日本、韓国、中国及びロシアの日本海沿岸地域の地方自治体やNGOの参加により、海辺の埋没・漂着物の調査を実施している。この調査では海辺に打上げられたプラスチック、紙等の埋没・漂着物の実態を把握するとともに、沿岸地域に居住する人々に対する海洋環境保全の啓発にも努めている。

瀬戸内海の保全・活用プロジェクト

●瀬戸内海に関する自然環境や景観を保全するとともに、海に関する様々な資源を漁業や観光・防災など多様な分野において活用するため、「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」など、広域ブロックや県境を越えた様々な連携の枠組みを通じた取組を強化する。

〔瀬戸内海の保全・活用〕

(交通体系及び防災ネットワークの整備)

- 高速海上交通時代に対応した安全で効率的な交通体系の創造
- 高齢社会に対応した生活航路の充実
- 海の路から続くみなとの交流拠点機能の強化・充実
- 「海の路」での繋がりが瀬戸内全体に安全・安心をもたらす防災ネットワークの構築



(事例) 航路情報提供サイト「みなとナビせとうち」の拡充



(事例) 港のユニバーサルデザイン・バリアフリー化の推進



(事例) 放置艇対策の推進

(瀬戸内海の環境創造)

- 漂流・漂着ゴミ対策の推進
- 失われた干潟・藻場の再生等環境の修復、保全
- 地域住民の環境に対する意識の向上



(事例) 市民ボランティアによる清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」の拡充及び啓蒙活動

(瀬戸内の魅力発信)

- 瀬戸内海の観光地としての魅力向上
- 瀬戸内ブランド確立に向けた情報発信



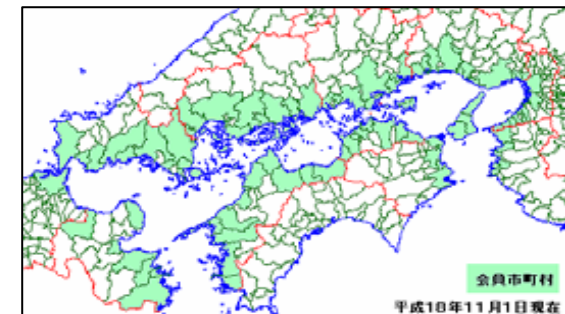
(事例) 多島海景観の世界への魅力発信



(事例) 瀬戸内海ポータルサイト「uminet.com」構築による情報発信

(瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会)

瀬戸内海沿岸に位置する各市町村が一堂に会し、新たな文化の創造、観光、レクリエーションの振興と発展を図ることを目的に平成3年に設立。以降これまで「リフレッシュ瀬戸内」や「みなとナビせとうち」等様々な活動を実施。



瀬戸内海沿岸域107の市町村、11府県が加入

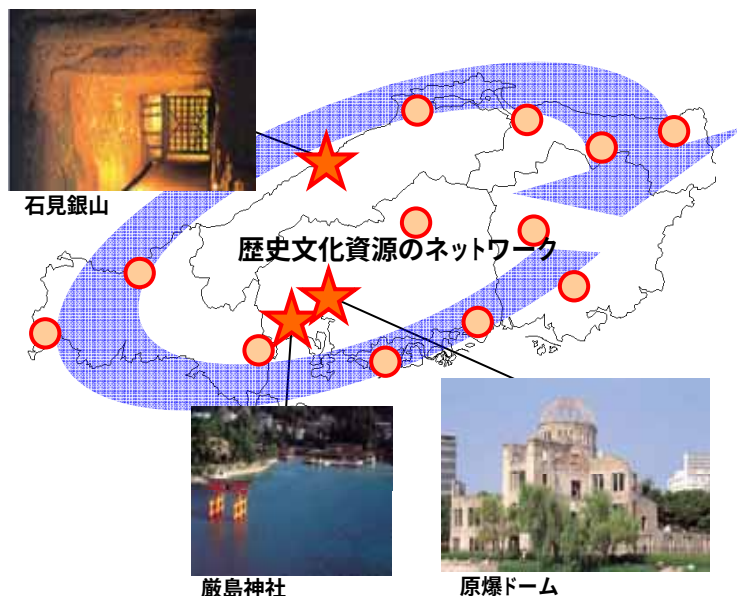
中国圏まるごと観光推進プロジェクト

- 観光資源の発掘・創出・維持保全による魅力ある滞在型の観光地の形成を図るとともに、世界的な遺産や体験型観光など観光資源の広域的なネットワークの整備によって、観光ルート・メニューの充実を図る。
- また、中国、台湾、韓国等の東アジアからの誘客を重点対象とし、国際競争力のある新たな観光商品の開発や、海外へ向けた広告宣伝事業、情報発信事業を総合的に実施するとともに、受け入れ体制の充実強化を図る。
- さらに、地域経済の活性化に寄与し、交流人口の拡大が見込まれる国際会議や全国大会などのコンベンションを共同で誘致・開催するなどにより中国圏の連携強化を図る。

〔観光ルート・メニューの充実〕

観光資源の発掘・創出・維持保全による魅力ある滞在型の観光地の形成を図るとともに、世界的な遺産や体験型観光など観光資源の広域的なネットワークの整備によって、観光ルート・メニューの充実を図る。

(イメージ) 観光資源・広域的なネットワークの整備



(事例) 地域資源を活用した体験・交流型の観光振興

(体験型観光地づくり)



土器を使った古代の精塩法による藻塩づくり体験

(広島県呉市蒲刈町)

(観光ボランティアガイドの活動)



各地で観光ボランティアガイドの活動が見られる
(写真は呉観光ボランティアの会)

〔海外に向けた 広告宣伝・情報発信〕

中国圏の観光PRのため、海外エージェントの招聘や、数カ国語でのHP・パンフレットの作成等を実施する。

(事例) 中国地方国際観光ビジネスフォーラム



中国地域観光推進協議会では、中国地方における最大のインバウンド商談会「中国地方国際観光ビジネスフォーラム」を、経済界、観光団体、行政等と連携し、開催している。3回目となる2007年は、中国・韓国・台湾の旅行エージェント・マスコミ関係者に加え、新たに外航クルーズ船社も招聘。

2006年の招請ツアー及び商談会の様子

東アジア等との国際交流推進プロジェクト

- 東アジアとの地理的近接性や密接な交流の歴史、国際経済との結びつきの強さなどの特性を活かすため、広域ブロックにおける人的交流のゲートウェイの形成に向けて、港湾や空港の機能の強化や高速交通基盤の整備、充実を図る。
- また、東アジアをはじめとする世界との経済・観光・文化などにおける人的交流を推進するとともに、環境・災害復興・平和・医療支援・人材育成などの分野で国際貢献の拡大を図る。

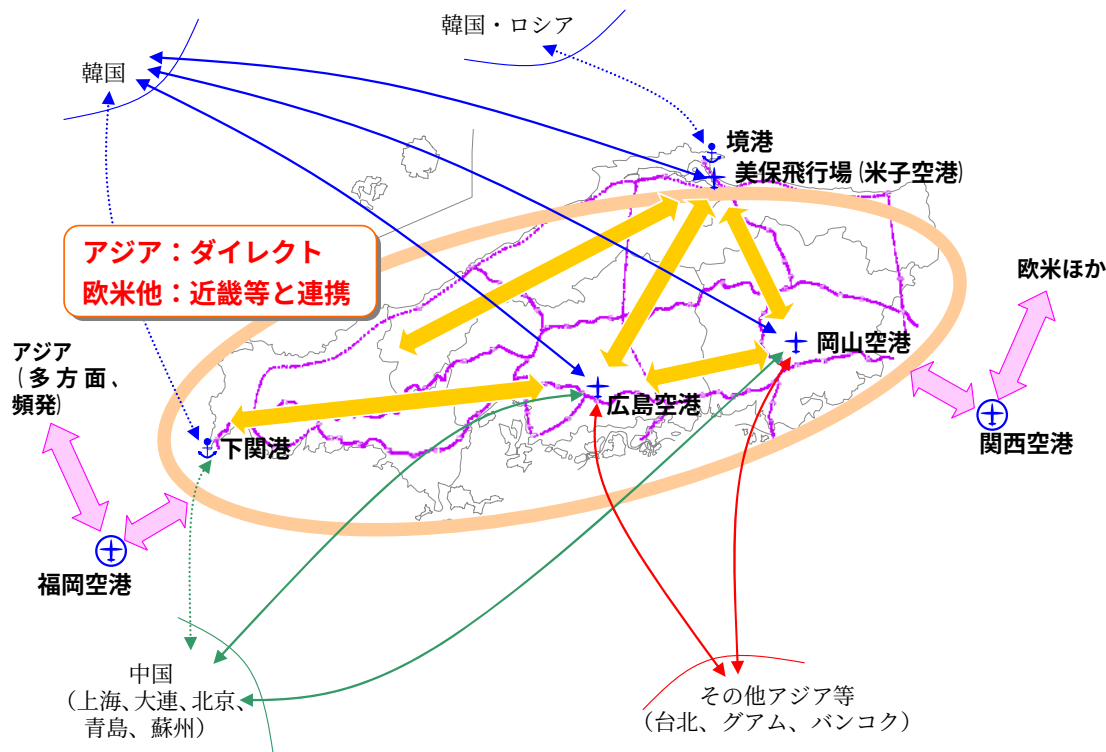
【広域ブロックゲートウェイの形成】

東アジアとの地理的近接性や密接な交流の歴史、国際経済との結びつきの強さなどの特性を活かすため、広域ブロックゲートウェイの形成に向けて、港湾や空港の機能の強化や高速交通基盤の整備、充実を図る。

【人的交流の推進・国際貢献の拡大】

東アジアをはじめとする世界との経済・観光・文化などにおける人的交流を推進するとともに、環境・災害復興・平和・医療支援・人材育成などの分野で国際貢献の拡大を図る。

(イメージ) 広域ブロックゲートウェイの形成



ものづくり産業などの国際競争力強化プロジェクト

- 瀬戸内海沿岸に集積するコンビナートの運営機能の統合及びリノベーション等によって、中国圏の強みである基礎素材型産業の競争力強化を図るとともに、ものづくり基盤技術の強化等を通じ、山陰に集積する液晶関連分野など中国圏における輸送用機械・電子部品・電気機械等の競争力の強化を図る。
- また、地域の特性・強みを生かした戦略的な企業誘致による産業集積の形成を図る。さらに、産学官連携を通じて国際競争力あるクラスターを形成していき、イノベーションや新産業の創出を図る。

【臨海コンビナートの運営機能統合・リノベーション】

瀬戸内海沿岸に集積するコンビナートの運営機能の統合及びリノベーション等によって、中国圏の強みである基礎素材型産業の競争力強化を図る。

【戦略的な企業誘致】

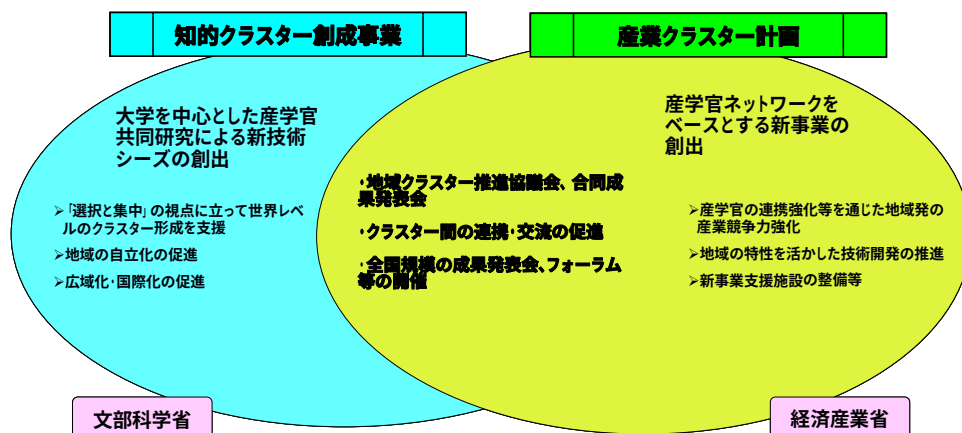
地域の特性・強みを生かした戦略的な企業誘致による産業集積の形成を図る。

【地域クラスターの形成】

産学官連携を通じて国際競争力あるクラスターを形成していき、イノベーションや新産業の創出を図る。

(イメージ)

産業クラスターと知的クラスターの連携



(事例)

産業クラスターと地域プロジェクトとの連携



国際物流機能強化プロジェクト

- 基礎素材型産業における大量の原材料、エネルギー資源などのバルク貨物の輸送コスト低減を目指すとともに、成長著しい東アジア諸国に近接する中国圏の地理的な優位性を活かし、国際競争力を強化するため、産業港湾の再生・機能強化、東アジアに向けたシームレスな貨物輸送ネットワークの構築・高度化を図り、国際的な競争力を有する物流基盤の整備を行う。

【基礎素材型産業を支える産業港湾の再生・機能強化】

基礎素材型産業における原材料、エネルギー資源など大量のバルク貨物の輸送コスト低減を目指し、国際競争力を強化するため、産業港湾の再生・機能強化を図る。

(イメージ) 産業港湾の再生・機能強化



【シームレスな貨物輸送ネットワークの構築・高度化】

成長著しい東アジア諸国に近接する地理的な優位性を活かし、東アジアに向けたシームレスな貨物輸送ネットワークの構築・高度化を図り、国際的な競争力を有する物流基盤の整備を行う。

(イメージ) 物流基盤の整備



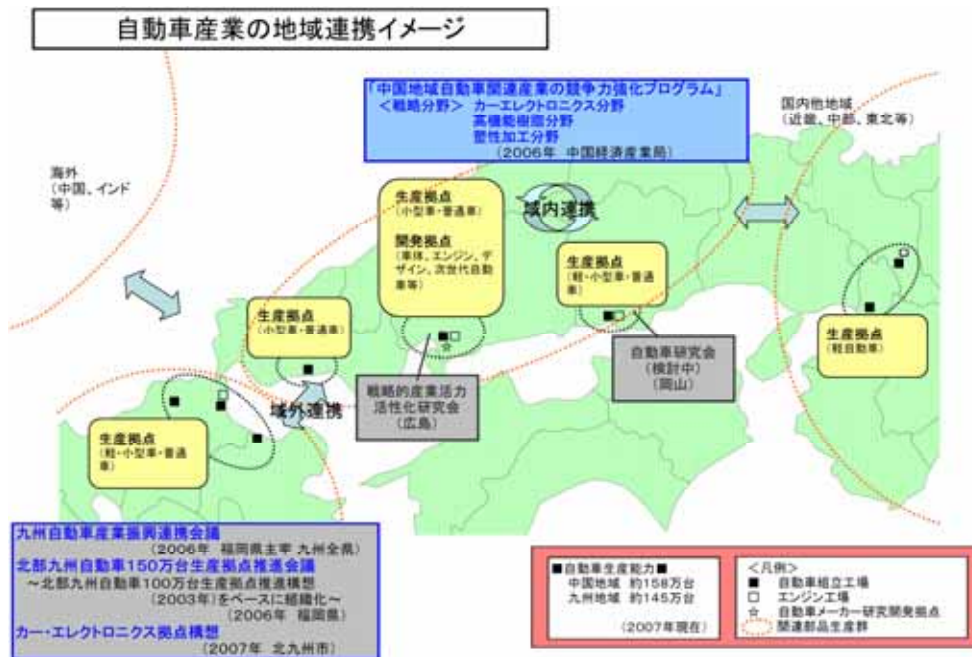
西日本産業連携促進プロジェクト

- 近畿圏のバイオ産業、九州圏の半導体・自動車産業、四国圏の基礎素材産業など隣接ブロックの基幹産業や循環・環境産業を中心とした、西日本における新たな産業融合を促進するため、産業クラスターの活動や新産業創出等の取組において、ブロックを越えた広域連携の体制づくりを行う。
- また、それらを支援する高速交通ネットワークの整備や既存ネットワークの有効活用を推進し、産業・経済面等における活性化を図る。

[ブロックをまたがる広域連携]

(自動車産業の広域連携)

(イメージ)



(環境産業の広域連携)

(イメージ) 瀬戸内海静脈物流ネットワーク



※瀬戸内海沿岸に基礎素材型産業が集積する中国圏及び四国圏においては、各コンビナート地区が循環資源の集積拠点及びリサイクル拠点としての産業展開を図るため、瀬戸内海におけるコンビナート地区等を結ぶ静脈物流ネットワークの形成を図る。

都市型サービス産業高度化プロジェクト

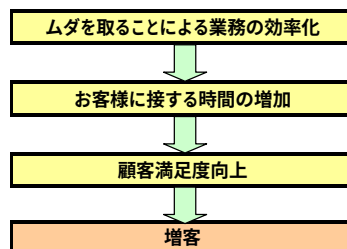
- ものづくり産業との融合やITの活用などによりサービス産業の生産性の向上・イノベーションの促進を図るとともに、中国圏におけるアニメーションや映画などのコンテンツを活用した地域活性化の支援及びそれらのコンテンツ産業の育成を図る。
- また、拠点都市圏における生活支援サービス産業の創出支援を行う。
- さらに、快適で高度な都市空間の形成、都市内交通や道路網の整備による交通基盤の高度化と都市圏交通の円滑化を推進する。

【サービス産業における生産性向上】

(事例)

トヨタ生産方式を導入し、サービス業の生産性を向上させたクリニック。業務プロセスの改善や効率化により「来院・受付から会計・帰院まで60分」を実施し、顧客満足度の向上に着実な成果を挙げている。

トヨタ流の徹底したムダの排除



事例



トヨタ方式で改善し、生産性が向上したナースステーション

(事例) 患者の動画解析・通知システム

カメラから入力された動画を元に人物の行動を解析し、危険を感知した場合のみ登録された通知先に通報するシステムを用い、患者、高齢者、障害者、独居者が安心して安全に生活を営める環境を提供している。



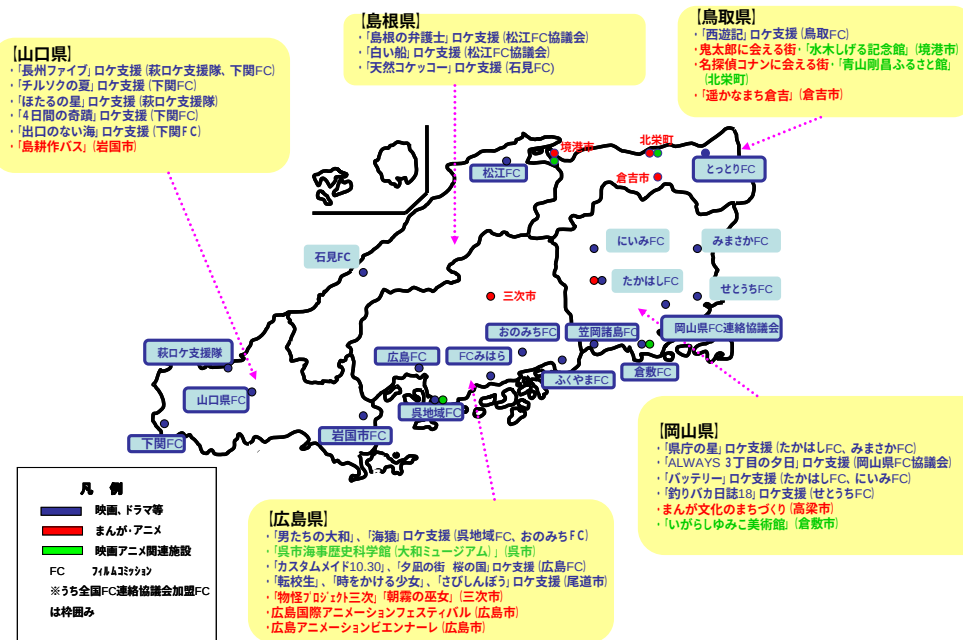
(資料)山口ネットワークス(株) ホームページより

【コンテンツ産業を活用した地域活性化】

(事例)

中国地域におけるコンテンツを活用した地域活性化の取組例

出所 中国経済産業局



農林水産業再生・強化プロジェクト

- 農林水産業の持続的発展のため、地域の実情に即した担い手の育成、生産・流通基盤の整備、経営の安定化を図るとともに、Uターンなどの農林水産業への新規就業を支援する。
- また、商工・農林水産団体の一体的支援により、売れる農林水産品・加工品づくりを推進し、ブランドの形成を図るとともに、中国圏内各地での地産地消の推進などにより、農林水産業の再生・強化を図るとともに、農商工連携を推進する。
- さらに、バイオマスエネルギー等の農林水産資源を新たに利活用した産業育成を図る。

【農林水産業の基盤整備】

農林水産業の持続的発展のため、生産・流通基盤の整備、経営の安定化を図る。

(事例) (株)秋川牧園 (山口市)

～農業分野での初の上場企業～

米、野菜、鶏肉、卵、牛乳、黒豚等を生産販売する、資本金7億円、従業員293名の農業法人。農業法人としては初の上場企業(ジャスダック)

農産品造りを目指すだけでなく、①経営者集団を目指す、②情報の共有化、③成果に基づいた公正な利益連動の分配、株価連動賞与、④農業の特性を生かした組織化と機能分担、⑤技術開発、品質管理、マネージメントの重視、⑥ネットワーク経営、といった経営理念の元に農業経営を行っている。



【担い手育成・確保】

(イメージ) 農作業風景

地域の実情に即した担い手の育成、Uターンなどの農林水産業への新規就業を支援する。



【地産地消の推進】

中国圏内各地での地産地消の推進などにより、農林水産業の再生・強化を図る。

【農林水産資源を新たに利活用した産業育成】

バイオマスエネルギー等の農林水産資源を新たに利活用した産業育成を図る。

【売れる農林水産品・加工品づくりの推進】

商工・農林水産団体の一体的支援により、売れる農林水産品・加工品づくりを推進し、ブランドの形成を図る

(事例) (有)桜江町桑茶生産組合など(島根県江津市)

有機JAS認定の下で栽培された桑を活用して、安全・安心な加工食品を消費者向けに提供し、桜江の「桑」商品のブランド力を向上。



【産業間連携】

農商工などの産業間連携により相乗的な地域活性化を図る。

(事例)

(株)日本農園(広島県世羅町)

～サラダ菜をハイクワ
耕栽培～



(事例)

キミセ醤油(株)(岡山市)

～黒大豆による
機能性食品への展開～



地域資源活用プロジェクト

- 産地の技術、観光資源など、中国圏固有の優位性のある地域資源を地域が主体となって戦略的に選択・集中・活用し、情報発信・事業化・ブランド化を進めるとともに、地域の強みを活かした付加価値の高い産業の創出・育成を図り、さらにそれぞれの地域が相互に機能を補完し共生できる多機能融合型の広域連携を推進していく。

【地域資源の事業化・ブランド化】

地域資源を生かした地域産品について、商品化、新事業開発などの展開を図る。

(事例) 青谷和紙(株) (鳥取県鳥取市)



世界で初めて確立した「立体和紙抄紙」技術を活かし、自由曲線を持つランプシェードを開発。

(事例) 美咲ファイネスト(株) (岡山県美咲町)



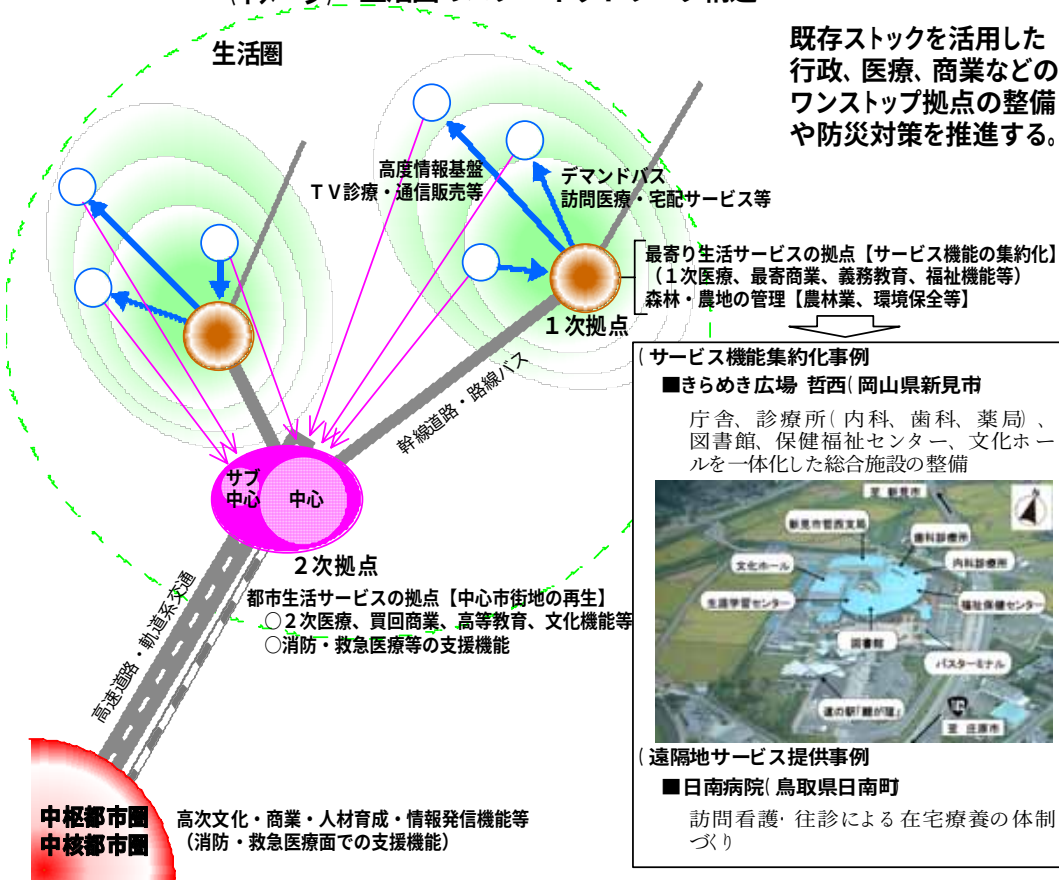
棚田の風景や農作業など、「癒し」体験プログラムや法人向けラム等の事業化。

中山間地域等の暮らし安心プロジェクト

- 中山間地域等の集落機能が低下するなか、地域の自立を図るため「新たな公」の考え方に基づく住民自治組織の設置を進め、防災・福祉・交通などの地域課題を地域で解決する活動を促進するとともに、既存ストックを活用した行政、医療、商業などのワンストップ拠点の構築や防災対策を推進する。
- また、居住環境の整備を含めた福祉サービス機能の向上を図る。さらに、交通機能の確保、情報通信の整備等により、生活圏内や二次と三次生活圏拠点間のアクセスの改善、居住の自由度の向上を図る。

【生活サービス機能の提供】

(イメージ) 生活圏のハブ・ネットワーク構造



【生活交通の確保】

(イメージ) コミュニティバスの導入



(イメージ) 乗合タクシーの導入



(イメージ) 離島航路の維持



中山間地域等の多面的機能保全・活用プロジェクト

- 食料・木材生産機能や、水・景観・生態系等の環境機能、国土の保全機能や保養機能を備える中山間地域等の多面的機能を維持・保全・再生するため、持続的な農林水産業を推進するとともに、都市住民の参加などによる森林・農地運営の推進や農山漁村体験、グリーンツーリズム・ブルーツーリズムの促進により、都市との多様な交流の活性化やお互いに支え合う仕組みづくりの構築を図る。

〔多面的機能の保全・活用〕

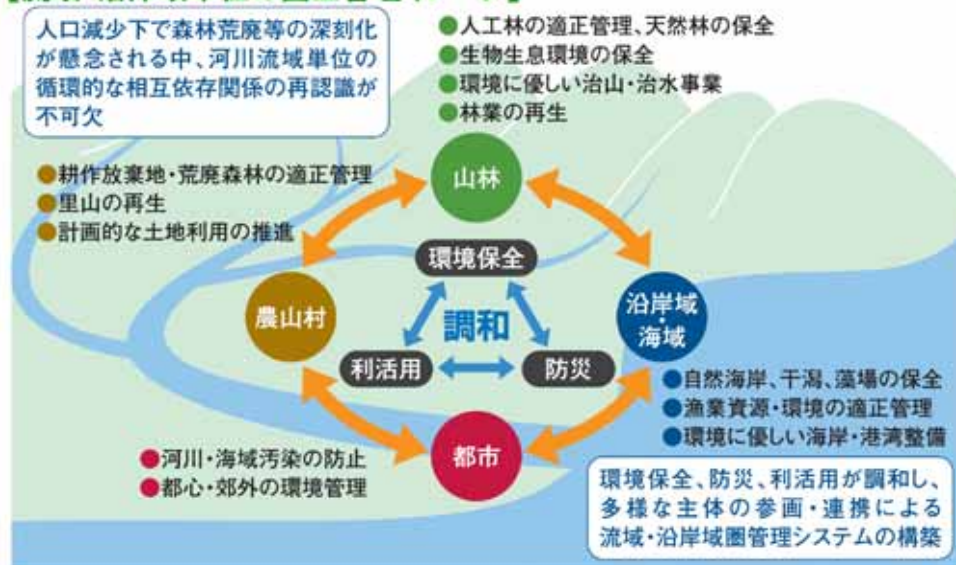
食料・木材生産機能や、水・景観・生態系等の環境機能、国土の保全機能や保養機能を備える中山間地域等の多面的機能を維持・保全・再生するため、持続的な農林水産業を推進する。

〔都市との交流の推進〕

都市住民の参加などによる森林・農地管理の推進や農山漁村体験、グリーンツーリズム・ブルーツーリズムの促進により、都市との多様な交流の活性化やお互いに支え合う仕組みづくりの構築を図る。

(イメージ)

【流域・沿岸域単位の国土管理イメージ】



(資料) 中国地方新生ビジョンー地域イノベーションー構想 (中国経済連合会/2006年10月)

(事例) 人・もの・まちづくり コラボねっと
(NPO法人まちづくりビジネス支援ネットワーク (島根県松江市))



魅力ある都市整備プロジェクト

- 都市が多様な自然に近接し、適度な密度で分散している地域特性を活かし、中国圏らしい都市の生活スタイルを確立するため、中心市街地における既存ストックの活用や市街地整備、交通結節点の改善などによる商業の活性化、魅力ある街なか居住を推進するとともに、歴史、文化、自然、景観等の地域資源を活用したまちづくりを推進する。
- また、効率的・効果的な交通システムの整備、水辺海辺環境・公園緑地・下水道の整備、良質な住宅ストックの整備などにより、地域特性に応じた快適な生活環境の形成を図る。
- さらに、高齢化社会に対応するため、旅客施設、建築物、道路、公園などにおける連続的なバリアフリー環境の整備を推進する。

(市街地の高度化と 中心市街地の活性化)

(事例) 集客施設の建設



新球場建設(

(事例) 市街地再開発



完成予想イメージ

(事例) 都心の賑わい創出



オープンカフェによるにぎわい創出

(都市公共交通の充実と交通結節点の高度化)

(事例) LRVの導入



LRVの導入

(事例) 交通結節点の高度化



電車・バスの対面乗換え

(事例) 交通ICカードの導入



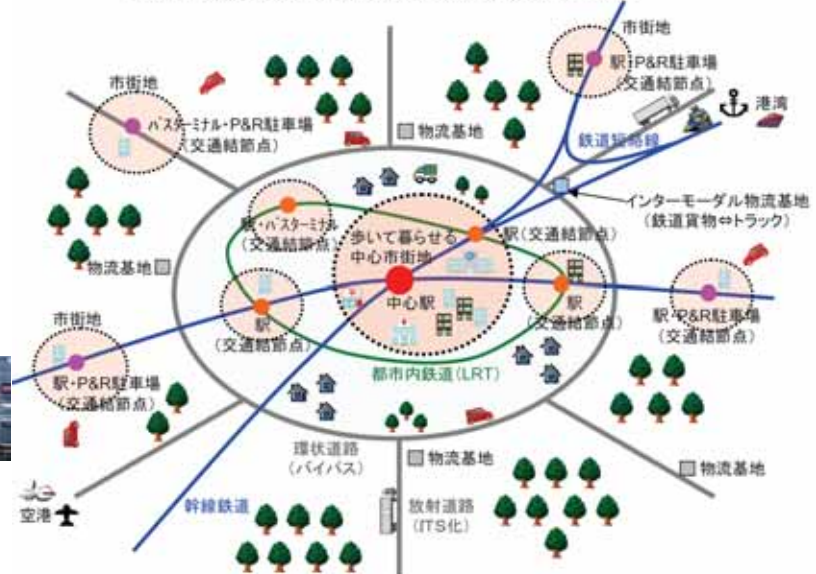
電車・バス・アストラムライン
船舶・宮島ロープウェー



JR西日本の「COCA」も利用可能

(イメージ) 都市機能が集約された都市構造と交通体系

＜都市機能が集約された都市構造と交通体系(イメージ図)＞



(資料)国土審議会計画部会第7回国土基盤専門委員会配布資料

中国圏の人づくりプロジェクト

- 産業活動を支える研究開発や新製品・新サービスの開発に携わる高度人材等の確保・育成・他圏域からの流入・定着を図るため、産業界や経済界と連携し、中国圏における大学等の高次教育・研究機能を活用した広域連携に基づく人材育成・確保プログラムの開発等を促進する。
- また、地域を支える担い手の育成のため、シニア世代や若年層などから多様な人材の育成を図るとともに、都市と中山間地域の人材交流と協働を促進する。さらに、新たな公を支えるための助言・支援を行う中間的な支援組織の設立を図る。

〔産業人材の育成〕

産業活動を支える研究開発や新製品・新サービスの開発に携わる高度人材等の確保・育成・他圏域からの流入・定着を図る。



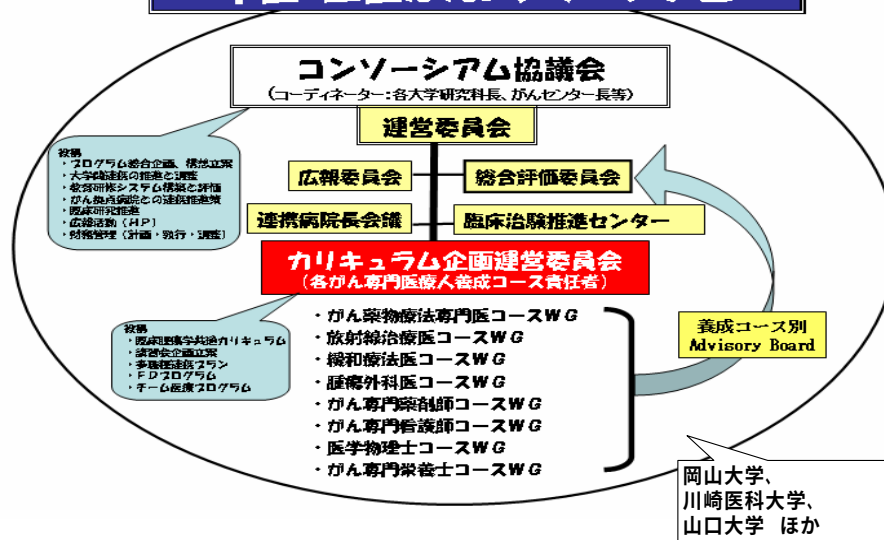
(事例) ステンレス板の溶接
(協力: 津山工業高等専門学校)

〔大学等高等教育機関の連携〕

産業界や経済界と連携し、中国圏における大学等の高次教育・研究機能を活用した広域連携に基づく人材育成・確保プログラムの開発等を促進する。

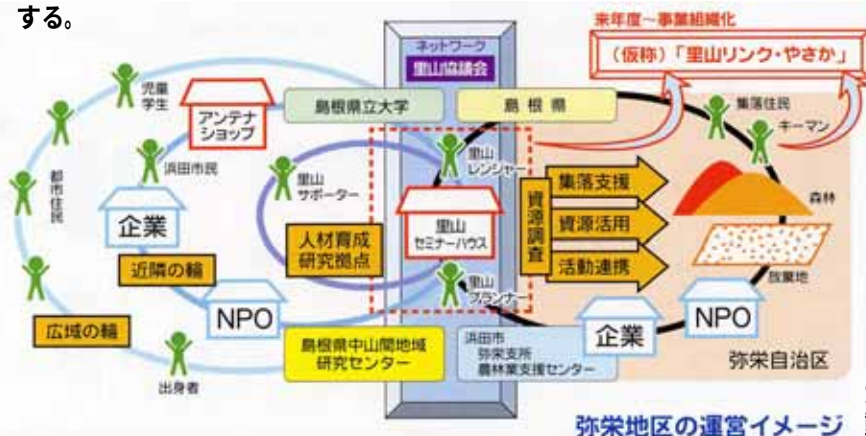
(事例) 中国・四国がんコンソーシアム

中国・四国がんコンソーシアム



〔地域を支える人材の育成〕

地域を支える担い手の育成のため、シニア世代や若年層などから多様な人材の育成を図るとともに、都市と中山間地域の人材交流と協働を促進する。



(事例) 島根県浜田市弥栄地区では、大学生の里山レンジャーによる地域活動支援などに実験的に取り組んでいる。

先進的な循環型地域づくりプロジェクト

■地球温暖化対策の推進

- 温室効果ガスの削減を一層推進するために、エネルギー利用効率の向上及び原子力発電の推進等によるエネルギー源の多様化・分散化等を図ることにより、一層柔軟かつ強靱なエネルギー需給構造の構築を推進する。また、コンビナート地区の企業間の連携によるエネルギーの効率的利用の拡大並びに、副生水素の利用等による水素社会形成を目指すとともに、環境負荷の少ない物流体系を構築するほか、中山間地域等においても、その地域資源を活かして間伐材等の活用によるバイオマスエネルギーの利活用等を図る。さらに、過度な自家用車利用から公共交通機関や自転車等への転換を促すとともに、都市緑化の推進や省エネルギー性能の高い住宅・建築物の普及など環境負荷の低減を目指す。加えて、地球温暖化に伴う水象・気象の変化に対応した防災対策を推進する。

■環境対策への連携した取組の推進

- 大陸からの影響が指摘されている光化学オキシダント・黄砂などの環境問題について国際貢献を拡大するとともに、枯渇が懸念される海洋資源について、沿岸諸国と連携して資源保護政策を充実する。また、静脈物流と産業廃棄物の再資源化が一体化した拠点地区の形成を図る。

【公共交通利用の促進】

過度な自家用車利用から公共交通機関や自転車等への転換を促す。

【環境負荷の少ない社会システムの構築】

都市緑化の推進や省エネルギー性能の高い住宅・建築物の普及など環境負荷の低減を目指す。

環境負荷の少ない持続可能な都市の形成のための施策の方向性

(コンビナート内における省エネルギー方策)

- エネルギー利用効率の向上
- エネルギー源の多様化・分散化

【柔軟かつ強靱なエネルギー需給構造の構築】

エネルギー利用効率の向上及びエネルギー源の多様化・分散化などにより、一層柔軟かつ強靱なエネルギー需給構造の構築を推進する。

※地球温暖化防止を推進するため、中国圏の特性であるコンビナートのポテンシャルを活かして、水素エネルギーの活用を進める。



【バイオマスエネルギーの活用】

中山間地域等において、間伐材等の活用によるバイオマスエネルギーの利活用を図る

(事例) 木質ペレットへの加工

木くず

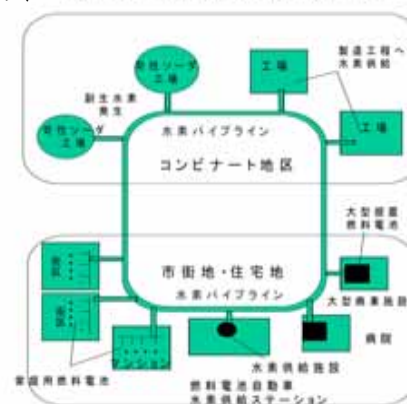


ペレット



かんなくず等を加工した木質ペレット

(イメージ) 西南コンビナート地域における水素社会構築のイメージ



災害に強い国土・地域づくりプロジェクト

●流域圏や沿岸域における災害対策、渇水対策などの国土管理の連携を図るとともに、都市型水害対策の推進、防災拠点施設の整備と強化を行う。また、大規模災害時の空港・港湾・道路など緊急輸送ネットワークの確立と強化、施設の老朽化対策など、既存の社会インフラの戦略的な維持管理を推進する。あわせて、防災情報システムの整備による防災体制の確立や、消防団・水防団と自主防災組織活動の連携などソフト対策の推進により地域防災力の向上を図る。さらに、気候変動に伴う災害激甚化等新たな課題への対応も進める。

【緊急輸送ネットワークの確立と強化】

大規模災害時の空港・港湾・道路など緊急輸送ネットワークの確立と強化を図る。

【防災拠点施設の整備】

水防活動及び災害復旧活動など防災拠点施設の整備と強化を行う。

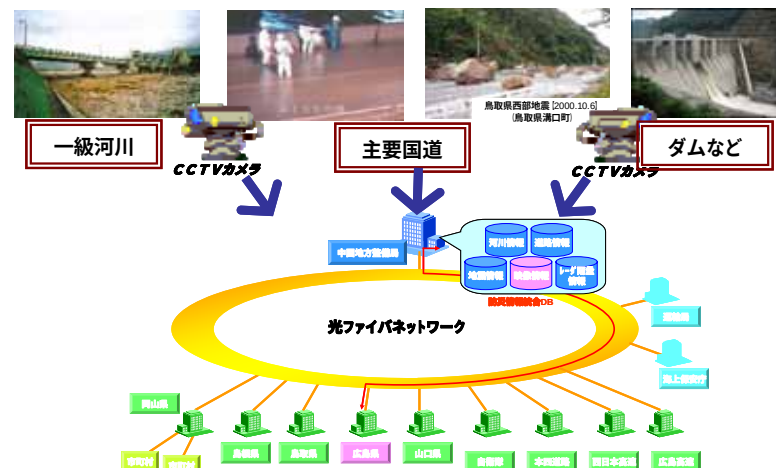
(事例) 防災ステーションの整備



【ソフト対策の推進による地域防災力の向上】

防災情報システムの整備や、消防団・水防団と自主防災組織活動の連携などソフト対策の推進により防災体制の確立を図る。

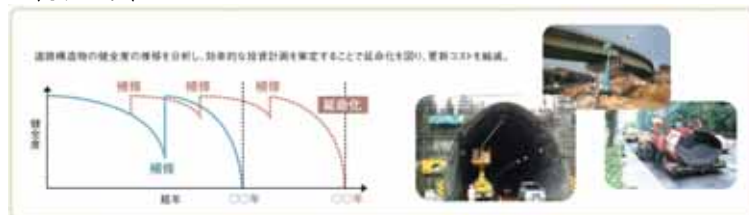
(イメージ) 防災情報システム



【社会資本の戦略的な維持管理】

施設の老朽化対策など、既存の社会インフラの戦略的な維持管理を推進する。

(イメージ)



【治水対策事業の推進】

洪水から地域の生命、財産を守るため効果的な治水対策を推進する。

(事例) 河川の拡幅



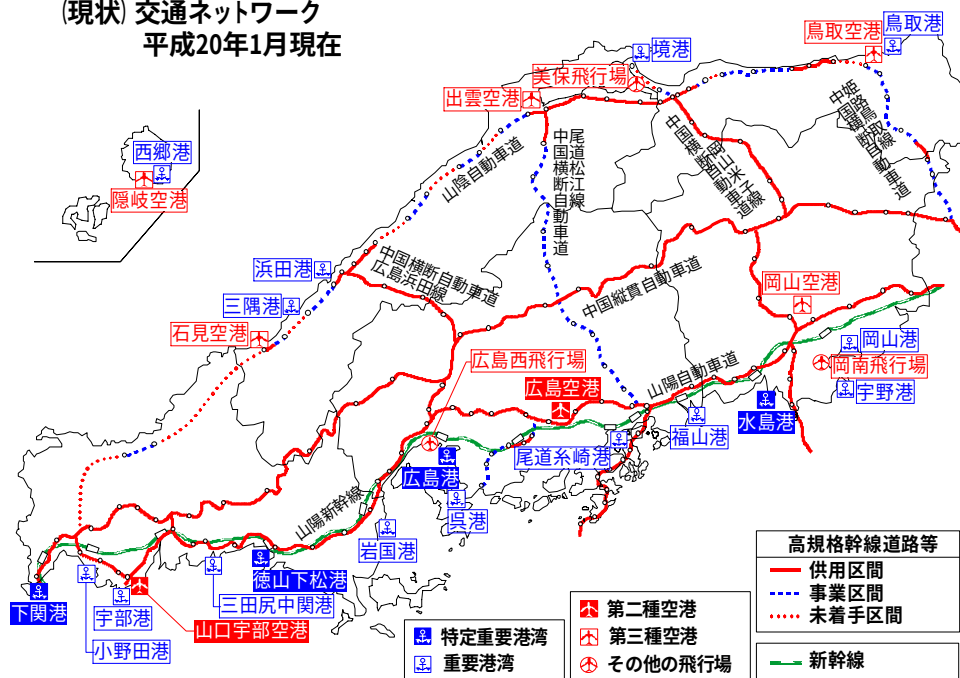
基幹的交通・情報通信ネットワーク整備プロジェクト

●分散型の地域構造の特徴を活かした中国ブロックの一体的な発展を図るとともに、隣接ブロックとの連携を促進するため、これらの交流・連携を支える陸・海・空の交通ネットワークや情報通信ネットワークを整備する。

【交通ネットワークの整備】

分散型の地域構造の特徴を活かした中国ブロックの一体的な発展を図るとともに、近隣ブロックとの連携を促進するため、これらの交流・連携を支える陸・海・空の交通ネットワークを整備する。

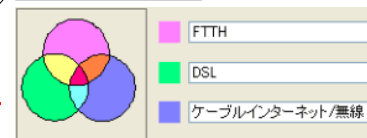
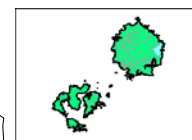
(現状) 交通ネットワーク
平成20年1月現在



【情報通信ネットワークの整備】

交流・連携を支える情報通信ネットワークを整備する。

(現状) ブロードバンド整備状況



ブロードバンド整備状況

平成20年1月末現在

